

若村麻由美の劇世界

第一回 『平家物語』による語り芝居

『木曾最期』―巴・木曾義仲・今井兼平

『対談 若村麻由美と平家物語を語る』

特別ゲスト

野村萬斎(昼の部)
仲代達矢(夜の部)

『小宰相身投』―平通盛と小宰相局

2011年11月9日(水)

昼の部 15時 / 夜の部 19時

銚仙会能楽研修所



人間の生死が厳しく描かれた『平家物語』は日本の芸能の源流である。そのなかでも女語りと呼ばれる、女性の運命が凝縮して描かれた『木曾最期』と『小宰相身投』の物語を若村麻由美が能舞台で縦横に演ずる。

『木曾最期』―巴・木曾義仲・今井兼平

愛する義仲と一緒に討ち死にしたいという巴の願いは聞き入れられない。その無念を最後の戦に託し、長刀で敵をさんざんに蹴散らし、思いを残し去っていく巴。残された義仲、兼平主従の壮絶な討死と自害。激しく命の極みを生きた二人を若村麻由美が能舞台で多彩に演じる。

『対談 若村麻由美と平家物語を語る』

昼の部は狂言から現代劇まで活躍し、『子午線の祀り』で知盛役を演じ高い評価を得た野村萬斎氏。夜の部は「無名塾」を主宰し、NHK大河ドラマ『新・平家物語』で清盛役を演じた仲代達矢氏。このお二人と若村麻由美が『平家物語』の魅力を語り合う。

『小宰相身投』―平通盛と小宰相局

討ち死にした夫の忘れ形見を身籠る体で、夫と二つ蓮の上に迎えとられることを願って入水する妻小宰相局。戦で引き裂かれた男女の悲劇。若村麻由美が能舞台で練り上げ、洗練させた『平家物語』による鎮魂の一人芝居の真骨頂。



若村麻由美プロフィール
無名塾出身(第9期生)。

NHK朝の連続テレビ小説「はっさい先生」のヒロインに選ばれデビュー、舞台、映画、TVなど幅広いジャンルで演技派女優として活躍。『平家物語』による作品は、ライフワークの一つとして能舞台での一人芝居として上演。『小宰相身投』は完成度の高い舞台として高い評価を得る。今回新たに『木曾最期』に取り組み。

エランドール新人賞受賞(NHK連続テレビ小説「はっさい先生」主演)、第33回紀伊國屋演劇賞個人賞受賞(舞台「ブレイズ・ラカン」主演)、日本アカデミー賞優秀助演女優賞受賞(映画「金融腐食列島 呪縛」アンカーウーマン美豊役)、第38回ギャラクシー個人賞受賞(NHK連続ドラマ「柳橋慕情」主演)等受賞。

2011年11月9日(水)

昼の部 15時開演(14時30分開場)

夜の部 19時開演(18時30分開場)

鉄仙会能楽研修所

〒107-0062

東京都港区南青山4-21-29

電話 03-3401-2285

地下鉄 表参道駅下車

(銀座線千代田線半蔵門線)

A4出口より徒歩3分

※駐車場はございません。

◎入場料 6000円

◎お申込み・お問合せ

アトリエ花習

電話 090-9676-3798

FAX 03-5988-2810

ホームページ <http://atelierkashu.com/>

◎後援 NPO法人原典「平家物語」を聴く会



出演 若村麻由美

特別ゲスト

野村萬斎(昼の部)

仲代達矢(夜の部)

能管・尺八 設楽瞬山

薩摩琵琶 岩佐鶴丈

ナレーション 近石真介

演出 笠井賢一